

報道関係者 各位

## 成蹊大学の大学改革プラン 2020年度に、経営学部新設、経済学部改組、 グローバル教育プログラム開設を構想

成蹊大学（東京都武蔵野市、学長：北川浩）は、複雑化と多様化が進む社会に対応した人材の育成に向け、大学改革プランを推進し、2020年度には既存の経済学部を発展的に改組し、経営学部の新設と、経済学部の改編を構想しています。また、学部横断型のグローバル教育プログラムの開設も構想しています。

### 【ポイント】

- ① 経営学部の新設
- ② 経済学部の改編
- ③ 学部横断型のグローバル教育プログラム「EAGLE」（仮称）を開設

### 【概要】

#### ① 経営学部の新設について

1 学科で構成。授与される学位は、学士（経営学）。

- ・「総合経営学科」（仮称）

総合マネジメント能力を育成するために、総合科学としての経営学を探究する学科です。

#### ② 経済学部の改編について

2 学科で構成。授与される学位は、両学科とも学士（経済学）。

- ・「経済数理学科」（仮称）

経済分析のスペシャリストを育成するために、数理モデル分析やデータ解析を中心とした〈世界標準〉の経済学を学ぶ学科です。

- ・「経済デザイン学科」（仮称）

現代社会で求められる課題解決力を養成するために、多元的視座から経済学を学び、フィールドワークやケーススタディを通じて実践していく学科です。

現在の経済学部経済経営学科（一学科制）を、経営学部（一学科制）と新しい経済学部（二学科制）の2学部3学科へと発展的に改組を行い、それぞれの専門性をより高め、これからの社会や企業のニーズに応える人材を育成していきます。

### ③ 学部横断型のグローバル教育プログラム「EAGLE」(仮称)の開設について

全学的なグローバル教育プログラム「EAGLE (Education for Academic and Global Learners in English)」(仮称)を開設します。

- ・プログラムへの参加が許可された英語力の高い学生のみが、各学部学科に所属しながら、少人数の授業でグローバルに学ぶ学部横断型の特別なプログラムです。
- ・1年次には英国ケンブリッジ大学への短期留学を、更に2年次から3年次には中・長期留学を組み入れます。
- ・本プログラムの開設に伴い「グローバル入試」(仮称)を実施します。
- ・国際学生寮を拡充します。

成蹊大学はこれまでも、留学システムの充実や学内における「成蹊国際コース」の設置など、国際教育における様々な取り組みを行ってきました。これらを総合的に発展させ、国際的に活躍できる人材、企業の国際化を牽引できる人材を育成していきます。

#### ※成蹊大学について

1912(明治45)年に創立した成蹊実務学校を源流とし、1925(大正14)年に創設した旧制高等学校(7年制)が戦後の学制改革により1949(昭和24)年に成蹊大学となりました。文系・理系がともに4年間通う吉祥寺のワンキャンパスで、建学の精神のもと、個性を尊重し、学生一人ひとりと向き合う教育を実践しています。現在、4学部10学科5研究科、約7,700名が在籍。新学部の設置は、1968(昭和43)年に政治経済学部を改組し、経済学部、法学部を設置して以来、52年ぶりとなります。

なお、上記記載内容については構想段階のものであり、今後、本学における検討状況や文部科学省への相談結果等により名称も含め変更することもあります。

本件に関する報道機関からのお問合せ先

成蹊学園 企画室 広報グループ

TEL.: 0422-37-3517 FAX: 0422-37-3704 E-mail: koho@jim.seikei.ac.jp